

新潟県立村上高等学校 同窓の訪れ

ご挨拶



新潟県立村上高等学校
同窓会会長 丸山 文義
(25回生)

令和5年10月21日の総会で会長に選出
していただいた丸山文義です。伝統ある
同窓会の会長を拝命し、身の引き締まる
思いです。浅学非才の身ではありますが、
同窓会長として鋭意努力して参りますが、
ご指導ご支援賜りますようお願い申し
上げます。

私は、第25回生で、昭和48年3月に卒
業いたしました。入学した年の5月に村
上高校の大火災があり、火災を免れた木
造校舎とプレハブ校舎で過ごしました。
3年生の文化祭の後に椅子を現校舎に運
んだことを思い出します。現校舎の体育
館で卒業式をした初めての卒業生です。
あれから半世紀が過ぎております。月日
の早さに驚くばかりです。

火災前の校舎で過ごした卒業生と現校
舎で過ごした卒業生では、思い浮かぶ光
景に違いはありますが、村上高等学校で
学んだという縁に結ばれた仲間でありま



令和6年度 入学式

す。その「絆」を深めていく同窓会であ
りたいと考えます。

具体的には会則に述べられているよう
に、「会員と母校との連絡を密にし、併せ
て会員相互の親睦を図る」ことを大切に
進めて参ります。広報活動による情報発
信、総会・懇親会の充実はもちろんのこと、
多くの会員、支部のネットワークの結び

第74号

編集・発行
新潟県村上市田端町7番12号
村上高等学校内
新潟県立
村上高等学校同窓会
TEL080-7848-3494
メールアドレス
murakou-dousouka@outlook.jp

印刷
村上印刷株式会社

スクール・ポリシーについて



新潟県立村上高等学校
学校長 萱森 茂樹

目としての役割を果たして参ります。
今年の総会は10月26日(土)に開催いたし
ます。年に一度の総会は先輩、後輩、同
期と語り合う機会です。多数のご出席を
心からお待ちしております。

同窓の皆様におかれましては、日頃か
ら本校の教育活動に対し、御理解と御支
援を賜り感謝申し上げます。本年四月に
着任し、爾来、自然に恵まれ歴史と文化
を大切に育む環境のもと、伝統校の品格
あるたずまいの中で、身の引き締まる
思いで校務運営にあつております。四
月八日に、新たに九六名の新入生を迎え、
令和6年度がスタートしました。

新学習指導要領施行三年目の今年度
は、「主体的・対話的で深い学び」を目
指してきた生徒たちが卒業する年となり
ます。培ってきた「深い学び」を卒業後
も継続してもらいたいと願っています。
また、令和三年の中央教育審議会提言
「令和の日本型学校教育」に基づき策定
を進めていたスクール・ミッション及び
スクール・ポリシーが昨年度末に確定し
公表されました。この取組は、各県立高
等学校等の役割や理念について、中学生、

地域住民等に分かりやすく提示すること
を目的とし、各学校の社会的役割、目指
すべき学校像等をスクール・ミッション
として再定義し、それを受けて各校で教
育方針をスクール・ポリシーと称して見
直したものです。本校においては既に
ホームページにて公表しているとおり
「堅忍不拔の精神」を受け継ぎ、「未知の
ものに勇氣をもって向き合い、謙虚に、
かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成」を行う
こと等としています。今後は、生徒たち
が将来、地域社会や世界で活躍する人物
として羽ばたくことを願ってスクール・
ポリシーの実践に努め、地域の中学生を
はじめ、多くの人に本校の魅力を知って
いただきたいと思います。引き続き
御支援、御協力をお願いいたします。



現校舎正面

令和5年度 村上高等学校 同窓会

令和5年10月21日(土) 大観荘にて

総会・懇親会風景



「同窓会開催」〜「再会」に感謝



佐藤 正弥

(32回生)

4年ぶりに開催できた喜びと、協力をいただいたすべての方々に心から感謝を申し上げます。まずは当番幹事32回生を紹介させていただきます。

卒業して、18年目の平成18年に最初の学年同窓会を開催、参加者は110名を超えました。以後5年ごとに開催し平成30年で5回を数えましたが回を重ねる毎に参加者も10名程少なくなってきたのも現実。(子育て終わるも今は介護で、出席かなわずとの出欠返信も。)

地元在住の有志で同窓会実行委員会を結成し、構成・演出は総合同司会を務める井上健一に委ね準備を進めて来ました。

同窓会テーマは「お・も・て・な・し」そして「我々も楽しもう」でした。

小田副会長の乾杯の発声直後、会場に現れたのは、エプロン姿の「おもてなし隊26名(還暦後の男女)」でした。会場は微かなどよめきと笑顔で溢れました。アトラクションはクイズ、ゲームと恒例のお楽しみ抽選会と続き、賑やかな中にも、和やかに懇親会も進みました。

宴もたけなわ、同期でプロのミュージシャン大瀧秀則のギター演奏で「校歌」・「心の旅」の大合唱で同窓会の幕が降りました。現地スタッフは勿論「行けないが頑張れ」とエールをくれた同期達にも心から感謝を申し上げます。(拜)

翌月、慰労会を兼ねて第6回学年同窓会を開催、60名が参加。次は65歳での再会を誓い、テーマは「皆・健康」とした。

令和6年度 総会・懇親会案内

なつかしい顔の再会に旧交を温めましょう

日時 10月26日(土)

- ◆受付 11:00～
- ◆役員会 11:20～

会場

露天風呂
瀬波温泉 大観荘 
TEL 0254-53-2131

総会 ◆開会 12:00～

令和5年度事業・会計報告
令和6年度事業・会計審議

懇親会

- ◆開会 13:00～
- ◆会費 8,000円



仙田 健

(33回生)

懐かしさと新鮮さと

昨年度、四年ぶりに開催された同窓会は、卒業以来、同窓会とは無縁の生活をしてきた私にとつて、大きな転機となりました。還暦の年が幹事年度だという話を聞いていて、そのまま何事もなかったように通り過ぎていくのかと思いきや、32回生の同じ職場の先輩から次はあなた方だよ。との衝撃の一言。ということ、私たち33回生が令和六年度の同窓会の当番幹事を務めます。私自身は、昨年度は体調不良のため同窓会に参加できませんでした。一度も同窓会に出していないのに、初の参加が幹事という、なんとも笑えない話になりました。しかし、私には、頼りになる同級生がたくさんいます。二月から少しずつ準備を始め、現在は約三十名ほどが幹事に名乗りを上げてくれています。これからもまだまだ増える見込みです。時間の流れとは異なり、一部を除くと、ほぼ初対面状態。



新鮮な気持ちで新しいつながりをつくる事ができています。令和六年度は会場の都合もあり、昼過ぎから始め夕方には終える日程となっておりますので、夜は長いですが、懐かしい面々で、あるいは新しい顔ぶれで、三々五々、楽しい時間を過ごすことができます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。皆で楽しい会を作りましょう。

会長 顧問 常任理事 理事 校内幹事 監事 事務局長

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 小杉和也 | 小坂行一 | 赤坂浩一 | 高橋善治 | 渡邊生理 | 本保明 | 吉田信 | 山崎雄 | 石栗清 | 伊藤昇 | 本保初 | 高橋洋 | 増大み | 松原弘 | 高直美 | 佐裕美 | 山長文 | 高直美 | 渡邊美 | 寺島博 | 佐藤昌 | 山邊春 | 佐藤美 | 大井千 | 野代美 | 佐藤智 | 澤史 | 小伴美 | 伴宏 | 五十子 | 五十子 | 渡邊美 | 松本樹 | 菅森弘 | 瀬賀行 | 佐藤正 | 五藤弘 | 村山誠 | 圓山子 |
| (32回生) | (36回生) | (33回生) | (33回生) | (事務局長) | (教頭) | (34回生) | (33回生) | (26回生) | (25回生) | (24回生) | (17回生) | (16回生) | (35回生) | (34回生) | (34回生) | (34回生) | (34回生) | (33回生) | (33回生) | (33回生) | (33回生) | (32回生) | (32回生) | (32回生) | (32回生) | (31回生) | (31回生) | (31回生) | (30回生) | (30回生) | (30回生) | (27回生) | (27回生) | (27回生) | (27回生) | (27回生) | (25回生) | |

役員名簿

同窓会支部だより



関東支部

高橋 初雄 (24回生)

同窓の皆様、如何お過ごしでしょうか。

この一年の関東支部の活動を振り返って、まず「戦争と平和 宝田明の証言」ドキュメンタリーインタビュー上映会の開催、目黒界隈歴史散策の会の開催、村上市中央図書館への会報誌『村高』の初版から最新号迄を寄贈し市から感謝状を頂くなど、各方面で積極的な活動を行いました。更に会報誌『村高』三五号を発行するにあたり、構成や記事内容も一新致しました。寄稿頂いた方々にこの場をお借りし感謝申し上げます。昨年の「同窓の集い」(総会)は、新型コロナウイルスの影響により、懇親会なしと云う異例な形で四年振りに開催させて頂きました。が、昨年、お約束しました通り、総勢一〇〇名余りの多数のご出席を頂き、懇親会も盛大に開催させて頂きました。(六月十五日開催)支部活動の喫緊の課題は多くの会員の方々に、同窓会活動に参加して頂けるよう魅力ある内容の濃い企画を如何にお届けする事と、考えております。ご提案等ございましたらお気軽にお申し出頂けたら幸甚です。

会員の皆様方におかれましては、同窓会活動に積極的に参加して頂き「同窓の扉」を開き「絆」を深めて頂くよう、お誘いのお声かけを同窓の方々にお願い致します。以上近況及び活動報告とさせて頂きました。引き続きご理解とご協力をお願い致します。支部活動の詳細につきましては、支部HPをご覧ください。

(http://www.murakaminioh/index.htm)



関西支部

増井 清 (17回生)

昨年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行された為関西支部総会は5月に4年振りに開催できました。今年はコロナの話題もなく、5月25日(土)にがんこ梅田本店で無事総会を開催できました。(出席者17名)同窓会本部から圓山会長、村上市から大滝副市長(お二人は村高OB)をお迎えし、村高の活動状況や市政の取り組み状況など興味深いお話を傾聴させて頂きました。懇談会では会員の自由発言や抽選会などで楽しく過ごし、最後に校歌を斉唱し閉会となりました。来年も楽しい同窓会の開催を役員一同願っております。

又来年は4月13日から10月13日の間「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに関西万博が開催されます。同窓の皆様是非関西においで下さい。



新潟支部

山崎 理 (34回生)

4年ぶりの支部総会が、昨年11月18日アートホテル新潟駅前で開催され、11回生から34回生まで幅広い年齢層の同窓生22名が参加、懇親を深めました。遠方から平山剛校長、圓山文苑同窓会長、安富成良関東支部顧問が出席され、支部への熱いメッセージを頂きました。また、長年務められた飯沼和男支部長の後任として、山崎理が支部長を仰せつかりました。令和6年度の総会は11月2日(土)に同じ会場で開催の予定です。今回以降、様々な分野で活躍する同窓生の講演をリレー形式で行うという新たな試みを考えており、初回は堀田亨事務局長から「能登半島地震と液状化」に関するタイムリーな話題を提供頂きます。詳しくは新潟支部HPをご覧ください。



新発田支部

大滝 昇 (16回生)

令和元年途中から六年の今までの五年間の支部活動は、コロナ禍のため活動中止となり、この間は「中止のお知らせ」案内しか活動出来ませんでした。今思えば、日本中いや世界中で大混乱となり、日本の伝統文化や人との絆もおかしくなったように思います。

こうした中ですが新型コロナウイルスも五類になるなど支部活動再開の時宜到来となり幹事会を開き、遅ればせながら六月八日に総会と懇親会を開催することになりました。(総会の様子は「同窓の訪れ」の締め切りに間に合いませんので、写真は五年前の総会のものです。)

五年のブランクを取り戻すためには、大変な努力が必要となります。役員・幹事一同会を盛り上げる準備を進めていますので同窓の皆様も扉を開き「絆」を深めていただくために、是非とも、新発田支部の総会、懇親会に参加してください。





関川支部

伊藤 保史 (26回生)

関川支部では令和五年度の総会を令和になって初めて、五年振りに開催しました。

総会・懇親会には本部から圓山会長・小杉事務局長に御臨席をいただきました。参加予定者は十名でしたが、近良平氏は直前の会議で酔いすぎ本人も残念だったみたいですが直前キャンセルとなりました。しかしそこまで会を楽しみにしてくれたのに感謝です。

会では四年度分の事業報告・会計報告が行われ承認されました。来賓から高校の状況・本部・各支部の状況が紹介されました。懇親会では圓山会長が私の兄と同級生であると分かり、その夜兄から連絡がありました、このような会ではいろいろな出会いがあるなど改めて思いました。皆様もいろいろな出会いがある同窓会にぜひ出席してください。

今年総会を

開催した折には今後の支部の運営の再検討も必要になって来ると思いますので、よろしくお願いたします。



仙台支部

本間 弘信 (25回生)

昨年の十二月三日、仙台支部の総会及び懇親会を、仙台駅前の波奈にて四年ぶりに開催しました。当日は会員七名の出席で、本部から小杉事務局長をお迎えして、母校や故郷の話題を肴に久しぶりに話に花を咲かせました。話題の一つは、やはり今年の四月から新入生が三学級になつてしまうということでした。時代の流れとは言え、後輩にはそうした厳しい環境の中で、母校の存在感を示す活躍をお願いしたいものです。

話は変わって、我々が仙台から村上に行くには、小国経由のマイカー利用が主体ですが、小国道路が昨年秋季に山形県側でも着工となり(水害で米坂線の復旧が見通せない中で益々)利便性向上に期待しているところです。



群馬支部

石栗 秀明 (33回生)

群馬支部はコロナより活動休止中であり、総会含め特別な行事も行っていない状況で、来年度に再起動します。写真はコロナ前2019年6月に開催された総会のものです。

今年、本部の同窓会の当番幹事は33回生です。去年当番幹事32回生の総会に出席し、アトラクションなど盛大に行われ、コロナでできない年が続いたためか、一気に爆発したような盛り上がり、「ハドルが上がったな」と感じました。33回生は定期的ではありませんが同窓会を開いており、去年に続き、今年も八幡隆一君の幹事のもと、7月14日に開催予定です。当番幹事は生涯一度ですので、集まって当時の村高仲間と濃密にプランを練られたらと思っております。



各支部連絡先

- ◆関東支部長
高橋 初雄 TEL 090-3037-0959
- ◆関西支部長
増井 清 TEL 0721-25-8448
- ◆新潟支部長
山崎 理 TEL 090-2987-9208
- ◆新発田支部長
大滝 昇 TEL 0254-22-2833

- ◆関川支部長
伊藤 保史 TEL 0254-64-1010
- ◆仙台支部長
本間 弘信 TEL 022-277-7654
- ◆群馬支部長
石栗 秀明 TEL 027-327-7104

寄稿

ドラマ演出家

鶴橋康夫氏との別れ

丹田 公之助 (10回生)

人の世は常とは言いながら仲良き友との別れは限りなく辛く限りなく淋しいものである。

鶴橋康夫氏との永遠の別れであった。

鶴橋との出会いは今を去ること六十数年前の村上高校一年の教室であった。

桜の花咲く窓からお城山の重厚な姿が望まれる光景を今でもはっきりと記憶している。

彼は頗る明晰且つ雄弁であり、すぐに教室の中心人物になった。

新聞部に所属し、放課後は部室の窓際に跨がり夕暮れを友としていた姿を今でも明確に記憶している。

彼とはよくお城山に登って青春を論じ、又土曜の午後は瀬波で泳ぎ、笹川流れでさざえを採取し浜辺で焼き食した味を今でも舌の奥に残っている。

東京での学生生活は共に学び共にアルバイト生活を送ったことだ。

アドバルン上げの仕事に携わり、空に上がったバルンの管理を二人でよくやったものである。

そのころ石原裕次郎主演で確か「風船」と云う映画だったと思うが、よく真似た格好をしながらデパートや映画館の屋上で動き回ったことを青春の一コマの想い出として残っている。



その後の彼のテレビ等での活躍は皆様ご存じの通りで有りここに書くまでもないことであろう。

鶴橋!!

そちらの世界に行った時は静かに落ちついた所で一杯酌み交わしたいものだ。どうか安らかに眠ってくれ……。

ドラマ演出家、映画監督として活躍された10回生の鶴橋康夫氏が2023年10月にお亡くなりになりました。哀悼の意を表して同級生の丹田氏が寄稿してくださりました。

【主な作品】

テレビドラマ 「若なき者」「白い巨塔」

映画 「愛の流刑地」「のみとり侍」など

【主な受章歴】

2005年 芸術選奨文部科学大臣賞

2007年 紫綬褒章

2013年 旭日小綬章

母校だより

村上高校の現況



教頭 吉田 昌生

村上高等学校同窓会の皆様におかれましては、日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。さて、この春、一三五名の生徒が卒業



し、同窓会に加えていただくとともに、それぞれの進路へと出発しました。また、四月には九六名の新入生を迎え、令和六年度がスタートしています。少子化の影響により、令和六年度入学生は一学級減の募集であったこともあり、全校の学級数は十、生徒数は四月一日現在で三三〇名となっております。『村上高等学校百年史』には、昭和四〇年度は全校で三四年级、生徒数は一七三九名と記載されていることから、生徒数は約八割減少したことになります。

しかし、村上高校の生徒は、今も「堅忍不拔」の精神を胸に、社会の変化に主体的に対応しながら、たくましく高校生活を送っています。新型コロナウイルス感染症の五類への移行に伴い、生徒は学校行事や部活動を一層楽しみながら、各自の進路実現に向け日々勉学に励んでいます。別稿「大学等合格状況」にも掲載しましたが、令和五年度卒業生の国公立合格者数は二三名と、過去五年で最高の水準となっております。続く「主な大会成績」では、ソフトテニス部の活躍を掲載しましたが、全校の実に約八割の生徒が部活動に加入していることも、村高の活気を伝えるものと考えております。

村高生それぞれが思い描く幸せの実現のため、教職員一同、日々、全力で支援しております。同窓会の皆様におかれましても、今後とも変わらぬ御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



大学等合格状況

◆国立大学23名◆

新潟大学(7)、新潟県立大学(6)、
秋田大学(2)、北海道教育大学釧路校、
山形大学、福島大学、信州大学、富山
大学、釧路公立大学、高崎経済大学、
新潟県立看護大学(各1)

◆私立大学166名◆

青山学院大学(2)、明治大学(2)、
日本大学(6)、東洋大学(4)、
専修大学(2)、新潟医療福祉大学(23)、
新潟薬科大学(5)、新潟青陵大学(2)
他

◆短期大学6名◆

山形県立米沢女子短期大学、岐阜市立
女子短期大学(各1)、
新潟青陵大学短期大学部(3) 他

◆専門学校24名◆

長岡赤十字看護専門(1) 他

◆就職3名◆

公務員(2)

主な大会結果

令和6年度新潟県高等学校総合体育大会

○ソフトテニス部

女子個人優勝

(全国高校総体、北信越大会出場)

小湊 桜子 森 心温 組

○弓道部

女子個人(北信越大会出場)

中山 美波 四位

伊東 櫻子 五位

○少林寺拳法

女子単独演武三位(北信越大会出場)

横井 小春

弓道部

仲間との思い出を胸に

三学年 伊東 櫻子



最後の県総体は、顧問の
牧口先生、そして日々切磋

琢磨した仲間と共に、駆け抜けた三日間
でした。北信越大会進出が出来て嬉しい
と思う反面、インターハイ出場が叶わな
かった悔しさも残るものとなりました。
二年間、辛い時も諦めずに修練に励んで
きた自分を信じ、支え合ってきた仲間と
の思い出を胸に、高校最後の大会に臨み
ます。

ソフトテニス部

感謝の気持ちを忘れず向かっていく

二学年 森 心温



二度目の県総体は、相手よ
りも自分と戦うような試合

でした。そのなかで勝ち取った一位とい
う結果に、親や指導してくださった方々
に感謝しています。インターハイでは、
私たちのやるべきことを去年と変えるこ
となく、向かっていきます。自分と戦う
ようなことはせず、自分たちらしく、元
気で泥臭く、一点一点たくさん喜んで挑
戦していきます。

2023年 学校行事



球技大会



文化祭



体育祭

新潟県 瀬波温泉 海の彩り 夕陽の季節 ——
露天風呂
大観荘 *せなみの湯*

TEL. 0254-53-2131(代)

〒958-0857
新潟県村上市飯野 3-16-5
TEL. 0254-75-8500

瀬賀医院

〒958-0003 村上市吉浦 3060-8

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 1:30~ 6:00	○	○	○	×	○	×	×

休診日 日曜・祝日・木曜午後・土曜午後
TEL 58-2220 FAX 58-2225

「広報誌広告掲載・HP バナー」について募集します。詳しくは事務局へお問い合わせ下さい。
総務部

